

ホッと保健室

岡山県に緊急事態宣言が延長されました。感染者数は減少傾向にありますが、まだまだ油断はできない状況です。基本的な感染予防策は、変異株であっても3密(密集・密接・密閉)や特にリスクの高い5つの場面の回避、マスクの着用、手洗いなどが、これまでと同様に有効です。

厚生労働省は新型コロナウイルス感染症の発生をさらに抑えるためには、一人ひとりが最新の知識を身につけて正しく対策を行うことが何よりも重要だとしています。厚生労働省の「新型コロナウイルス感染症の“いま”に関する 11 の知識」を含め新型コロナウイルス感染症の情報を紹介します。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話することで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



Q.無症状の人からコロナウイルスが感染する可能性はありますか。

A.無症状の方からも新型コロナウイルス感染症がうつる可能性は十分あります。

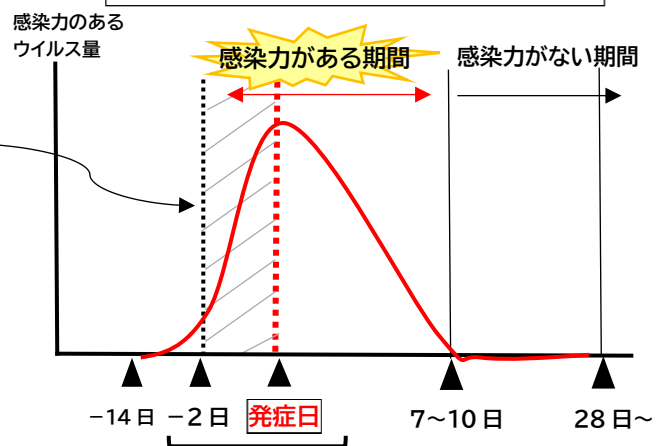
医療現場では無症状の方を“無症状性病原体保有者”と呼びます。症状がなくてもコロナウイルスに感染している人がいるということです。



Q.新型コロナウイルスに感染した人が、他の人に感染させてしまう可能性がある期間はいつまでですか。

A.新型コロナウイルスに感染した人が他の人に感染させてしまう可能性がある期間は、**発症の2日前から発症後7~10日間程度**とされています。

新型コロナウイルス感染症の感染力



発症日前後に最も感染力があります。
発症日前後が要注意！！